

事業名 CD	0103010204	介護予防事業
細分化した事業名		韮崎市いきいきほっとサロン事業
事業担当課室 CD	200300	福祉課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり
	中項目	安心して頼れる社会保障システムの充実
	小項目	国民健康保険・介護保険事業の運営
関連する個別計画等	高齢者福祉計画	根拠条例等
関連する事業	0	韮崎市いきいきほっとサロン事業実施要綱

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	高齢者に外出及び、交流の機会を提供することにより、孤独感の解消及び、生きがい作りを促進する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	65歳以上ひとり暮らし高齢者及び75歳以上高齢者
これまでの改善経過	18年度で修繕・備品購入に係る経費1施設当たり100,000円以内を廃止した
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 <input type="radio"/>市 <input checked="" type="checkbox"/>委託 <input type="radio"/>補助金 <input type="radio"/>その他(<input type="radio"/>0)</p> <p>委託先：韮崎市社会福祉協議会</p> <p>各地域にて高齢者の活動、交流の場として、公民館、集会所等を利用し各開催地区の事情により、年間数回サロンを開催する。</p> <p>企画、運営は、高齢者と地域住民とが共同で行う。</p> <p>事業を実施しようとするサロンの代表者は市長に補助金の交付申請を行う。</p> <p>補助金：一人当たり 年1,000円</p>
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	高齢者の引きこもりを予防、人との交流を通じて、日常生活に生きがいを持たせる。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)	2,194	2,357	2,356
財源内訳	国庫支出金	548	589	589
	県支出金	274	294	294
	市債	0	0	0
	その他	932	1,002	1,001
	一般財源	440	472	472
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.00	0.07	0.07
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	483	484	478
D	総事業費(A+C) (千円)	2,677	2,841	2,834
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	88 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分かりやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	実施施設数	(ヶ所)	75	78	76
	参加人数	(人)	2,194	2,357	2,356
	開催回数	(回)	204	201	247
	修繕・備品設置施設数	(ヶ所)	0	0	
成果指標	一施設当たりの参加人数 (算出式数値)	参加人数/実施ヶ所 (2,356人/76ヶ所)	29	30	31
	一施設当たりの開催回数 (算出式数値)	開催回数/実施ヶ所 (247回/76ヶ所)	2.72	2.57	3.25
効率指標	一施設当たりのコスト (算出式数値)	総事業費/実施施設数 (円) (2,834,000円/76ヶ所)	35,693	36,423	37,289

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 企画・運営を地域住民に任せることで、高齢者の自由な活動の場とすることができる。	
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 高齢者の自由な活動の場として定着してきている。	
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 実施施設の減少により一施設当たりのコストは上がったが、参加人数は横ばいで一人当たりのコストで考えると、むしろ若干ではあるが減少している。	
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成	
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり	
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	(1) 中長期的 単なる高齢者のつどいの場としてではなく、高齢者の生活の生きがいになったり、役に立つような活動の場として活発化させていく。	(2) 23年度 活動内容について、行政より企画・運営の代表者に向けたアドバイスの講習会等の機会を設ける。(健康体操の紹介等)
	(3) 22年度 保健師がかかわってゆくことで、内容の充実を図る。	
21年度の改善計画	現行のとおりとするが保健師と連携するなど工夫して実施する	
21年度の改善結果	開催回数の増加が見られた。	
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)		
課長所見	今後も高齢者が地域において、いきいきと暮らせるよう事業の継続が必要である。	